

東大野球部メールマガジン Vol.170

ごあいさつ

梅雨明けが待たれる今日この頃ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

6月17日に行われました京都大学との定期戦「双青戦」は先発の宮台投手(4年・湘南)が3回もたず降板、打線の反撃も及ばず3年連続での勝利とはなりませんでした。同日に行われた東京都国立大学戦の初戦、対電気通信大学戦では初回に先制するも投手陣が踏ん張ることができず、2年連続で初戦敗退となりました。

また、双青戦の翌日に行われました同志社大学とのオープン戦では投手陣が好投するも勝ち切れず引き分け、25日の神奈川大学とのオープン戦では中盤まで接戦となるも終盤に離され、打線もあと一本が出ず敗戦いたしました。

双青戦、国公立戦ともに勝利を手にすることはできませんでしたが、秋季リーグ戦に向けて日々の練習やオープン戦で力をつけていきたいと思っております。

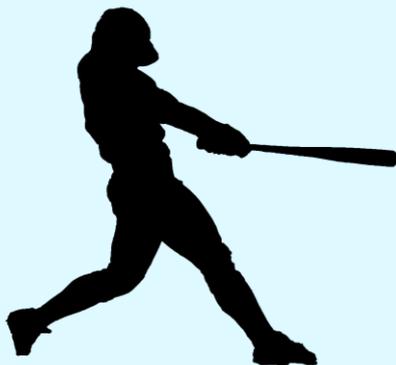
今後とも東大野球部をよろしくお願いいたします。

今後の日程

〈夏季オープン戦〉

7月2日 13:00 vs 横浜商科大 @横商大G

9日 13:00 vs 東京国際大 @東大球場・東国大G



今回の特集 「〇〇自慢！」

今回の特集では、自分の強みや他の人には負けないという自信を持つ点について語っていただきました。

佐藤 克哉 (4年・内野手・桐蔭学園)

私の自慢は語学力です。英文科に入ったのを機に私の語学力が開花しました。話すことができる言語は、英語、中国語、スペイン語、ヒンドゥー語など多岐にわたります。普段頭の中ではスワヒリ語で考えています。(と言えるようになったらカッコいいですね。)

現在はタイ語を勉強しています。

สวัสดี ขอบคุณล่วงหน้า

(こんにちは。よろしくお願いいたします。)

これからも応援よろしくお願いいたします。



平田 壮輝 (3年・内野手・甲陽学院)

僕の強みは語学力です。僕は高校まで関西で暮らしていたため、関西弁には自信があります。大学に入ってから色々な出身の人と出会って東京弁、名古屋弁、エセ関西弁、蚊の鳴くような声の杉本幹太(3年・外野手・金沢泉丘)弁、全く聞き取れなくて文末のクセが強い山本修(3年・外野手・岡崎)弁など様々な日本語を学びました。後ろの2つは同じ日本語とは思えないくらい難易度が高く、とても理解できません。日常会話くらいは普通にできるように頑張ろうと思います。

それでは、ヴォンギャ！（山本修弁・意味は不明）



星川 陽次郎（3年・外野手・開成）

僕の強みは語学力です。文学部に所属していて英米文学を学ばれているさとかつ（佐藤克哉）さんが語学力自慢であることは上にある通りですが、僕も負けてはいません。

僕は小学生時代をアメリカのデトロイトで過ごしたので英語には自信があります。英検1級相当の実用英語力はあると思っています。大学に入ってからスペイン語を習得し、他にもロシア語やスワヒリ語を学んできました。

これからのグローバルな時代に活躍するためにも自分の語学力をもっと磨いていきたいです。それでは、До свидания, давайте снова встретимся!（さようなら、またお会いしましょう！）



阿部 篤生（2年・投手・灘）

自分の強みは継続力だと思います。暑い日が続きますが、レベルアップするためきついランメニューやウエイトトレーニングも毎日継続してやっています。また、プレイの面でここが自分の強みと断言できるものを身につけていきたいと思っています。これからも応援よろしくお願い致します。



松延 健斗（2年・外野手・土浦一）

僕の自慢できるところは食事のスピードです。普段から部員と食事を共にすることが多いのですが皆の食べるスピードが遅いせいもあり自分の早さが際立ちます。自分が食べ終わったとき、皆はまだ唐揚げを2個しか食べていない、そんなイメージです。食事が早く済む分、練習や授業に余裕を持って準備できています。ただ、女性と食事をするときは急かしてしまわないように気を付けています。がつがつ食べるよね、と言われたことを気にしているのです。



編集後記

今回の特集はいかがでしたでしょうか。

今回は「同期の存在」と題し、仲が良いまたはライバル意識を持っている同期や自分の学年の雰囲気などについて語ってもらいます。どうぞ楽しみに！

今後とも東大野球部をよろしくお願い致します。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向丘 1-5-9 一誠寮

Tel&Fax 03-3811-5100

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等

ございましたら上記連絡先までご連絡下さい。